

平成27年度



赤木っ子だより

平成28年3月2日 No.36 文責 校長 橋本忠秋

《教育目標》

『豊かな心と自ら学ぶ力をそ
なえた、たくましい児童の育成』
あ 明るく元気な子ども
か 考えて行動する子ども
ぎ 気力ある子ども

「学校教育に関するアンケート(保護者)」集計結果について ②

前号「No.35」に引き続き、保護者対象の「学校教育に関するアンケート」結果をお知らせします。各欄の数値は、回答者数の割合をパーセントで示したものです。なお、裏面途中からは、児童対象のアンケート結果が載せてありますので、併せてご覧ください。

◎子どもにかかわる設問集計結果 A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

No.	項目	A	B	C	D
⑤	子どもは、友達に親切にするなど思いやりの心が育っている。	46.3%	48.0%	4.9%	0.8%
⑥	子どもは、授業がわかりやすいと言っている。	35.8%	49.2%	13.0%	2.0%
⑦	子どもは、道路を横断する時、いつも安全確認をしている。	33.1%	44.0%	20.2%	2.8%
⑧	子どもは、自転車に乗るとき、ヘルメットを着用している。	47.2%	45.9%	5.7%	1.2%
⑨	子どもは、登下校時や遊びに出るとき防犯ベルを携帯している。	71.4%	18.7%	5.8%	4.1%

No.⑤については、A・B評価で94.3%と昨年より上回りました。思いやりの心が育つことはとても大切なことであり、うれしい限りです。これも意識の高まりとご家庭の協力が反映された結果です。子ども達にとって落ち着いた生活や言葉遣いの良さ、相手を思いやる気持ちなどは、学力の向上に大きく作用しますので、今後も基本的な生活習慣とともに思いやりの気持ちが育つよう教育活動を展開していきます。No.⑥はA・B評価が85%で他項目に比べると若干低いです。子ども達にとって楽しくわかりやすい授業を提供することは学校の責務でありますから、さらに授業改善に取り組んでいきます。校内研修において、授業の課題を明確にするために研究授業をしていますが、1学期の実践回数をもう少し増やして改善に生かしていきたいと思えます。

No.⑦については、毎日のように安全指導をしていますが、安全確認をいつでもどこでもしていない子ども達が23%いますので、すぐに指導を強化するとともにマンネリ化しない指導をしていきます。No.⑧のヘルメット着用率は高くなってきていますが、6.9%の子どもがヘルメットを被らないで乗っていることがわかりました。命にかかわることなので、特に注意を繰り返してまいりますので、ご家庭でもぜひヘルメット着用について徹底するよう直接子どもに指導してください。No.⑨防犯ベルの携帯については、A・B評価で90%を越える所持率になりましたので、引き続きこの数値を維持しつつ全員が携帯するようにご協力をお願いします。なお、学校では防犯ベルの作動点検を毎月実施しておりますが、中には電池交換や破損のための買い換えなど必要な場合があり、家族に伝えるように話しておりますが言わないでいるかも知れません。どうぞ一声かけて確認をお願いします。

◎保護者にかかわる設問集計結果 A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

No.	項目	A	B	C	D
⑩	子どもの、仲のよい友だちの名前を知っている。	30.9%	36.6%	18.7%	13.8%
⑪	子どもの家庭学習をいつも見ている。(確認を含めて)	41.5%	47.6%	8.1%	2.8%
⑫	学年・学級懇談会などには、必ず出るようにしている。	34.6%	30.9%	24.0%	10.6%

No.⑩はA・B評価が67.5%で、昨年より5%ポイント上がりました。友達関係を知っておくことは大切なことですので、これからも関心をもっていたきたいと思えます。No.⑪は約90%と多く

のご家庭で家庭学習に関心をもってくださっています。見てあげることは、同時に誉めたり励ましたりして下さっている訳ですから、子ども達も頑張りがいがあります。どうぞ、これからもサポートをお願いします。

No.⑫では授業参観への出席率は大変高いですので、ぜひ懇談会への参加をお願いします。学校でも参加率が上がるように内容をひと工夫し、事前に学年・学級、学校だより等で発信していきたいと思えます。

.....

「学校教育に関するアンケート(児童)」集計結果について ①

昨年の11月に3年生以上の全児童を対象に、本校の目指す児童像「あかるく元気な子ども」「考えて行動する子ども」「気力ある子ども」にかかわって、学校生活を振り返ってもらいました。AからDの欄の数値は、保護者アンケートと同様に割合をパーセントで表示しています。

ここに、子ども達が成長の足あととして評価した一つ一つの項目は、取りも直さず子ども達を指導してきた私たちへの評価(学校評価)でもありますので、その視点を加えて記述します。

1 「あかるく元気な子ども」にかかわる振り返り(成長の足あと)

A:いつもそう思う B:時々思う C:あまり思わない D:全然思わない

No.	質 問 項 目	A	B	C	D
1	基本的な生活習慣を守っていますか。	47.3%	45.7%	5.9%	1.1%
2	温かい学級になるように、努力していますか。	39.9%	46.8%	10.1%	3.2%
3	ふれ合い・体験活動に進んで参加していますか。	55.9%	28.2%	13.3%	2.7%
4	体験や活動の中で、正しい心を身につけていますか。	49.5%	43.1%	5.9%	1.6%
5	道徳の学習で、思いやりの心が育っていますか。	50.5%	40.4%	8.0%	1.1%
6	別な学年や地域の人たちと進んで交流をしていますか。	38.5%	42.4%	14.4%	4.8%
7	朝の活動やおそうじ、児童会活動に進んで取り組んでいますか。	53.4%	38.1%	7.4%	1.1%
8	特設クラブ活動に、積極的に参加していますか。	69.7%	19.7%	7.4%	3.2%

『明るく元気な子ども』を目指し、「思いやりの心を持ち進んで行動する子どもを育てる(こころをみがく)」を重点目標として、様々な教育活動を実践してきました。

No.1「基本的な生活習慣を守る」は、A・B評価では93%と高いです。生活のルールを守って過ごせることは心が安定し、友達とも仲良くやっていけ楽しい学校生活を送ることにつながります。一部の子どもはまだ身に付いたと言えるまでには至っていませんので、どの子どもも身に付くように努力していきます。No.2は、どの学級も温かい学級づくりに努めてきたことから考えますと、A評価よりB評価が高いのは意外な結果と言えます。新年度はさらに子ども同士が努力し合って温かい学級をつくり、お互いに居心地のよい、楽しく安心して過ごせる学級づくりを進めていきます。No.3はA評価が約56%と高いです。但し、C評価が約13%あるのは、縦割活動が少ない時期の評価なので数値が若干高いようです。同じ傾向がNo.6にも見られます。これらを受けて、新年度は上級生と下級生の交流が増して関係が深まるように、今までの縦割活動に加えて、縦割による清掃を取り入れていきます。

No.4.5.7はA・B評価で90%を越え、No.8はほぼ90%です。特に、特設クラブ活動への参加がA評価で約70%というのはとても子ども達は頑張っ活動に参加し、指導者たちもそれを支えていたことがわかります。この続きは次号「No.37」に掲載します。

子ども達は3月に入ると、気温の関係からとても開放的になります。それだけ活動が活発になり、裏腹に安全に対する意識が相対的に下がって事故が起こりやすくなります。「命は一つ」、その命を守るのは自分自身であり、安全を確かめて落ち着いて行動することが大切であることを教えてあげてください。